

令和6年 能登半島地震体験レポート

takeあーと 竹澤 英里 [R.11月寄稿]

元日は主人の実家がある珠洲に帰省しており、16時頃は金沢に戻る支度をしていました。一度目の揺れで経験したことの無い恐怖を感じ、「すぐに外に出て!」と叫びました。皆が外に出た直後、二度目の激しい揺れが続きました。立っていることが出来ず地面にうずくまる中、長時間の揺れに耐えられなくなった近隣の家々が一斉に倒れる瞬間を目の当たりにしました。とても現実とは思えず、しばらくは夢を見ているような感覚が続きました。



見渡す限りの近隣家屋はほぼ倒壊



実家前防水水槽の蓋 地震によるズレ

揺れがおさまり、しばらくして近所の皆が集まり始めました。震度6強の揺れで周辺家屋はほとんどが倒壊。日が沈みかけ遠くに移動も出来ず、近くの育苗センターに数十人が集まりました。車中泊の方も居る中、ビニールハウスでストーブを焚き、皆で身を寄せ合い毛布にくるまって一夜を過ごしました。非常事態の中でも、周りに人が居るといっただけで安心できました。霜が降り寒さも辛かったです。おさまらない余震の中とても眠れる状態ではありませんでした。



ビニールハウスの様子

1月2日。日が昇り、自宅の確認に戻りました。2階建の離れと古い納屋は完全に倒壊していました。築20年の2階建は何とか持ちこたえていましたが、サッシや内外壁は剥がれ落ち柱も傾き、とても住める状態ではありませんでした。



実家玄関まわり



実家、2階建て離れの倒壊



実家の内部状況

幸運にも車は無事だったので、避難所を目指しました。海沿いの道路には、前日の津波で沢山のものが打ち上げられていました。車で少し走った場所にある小泊地区は昔から地盤が固いと聞いていましたが、ほとんどの住宅が倒れずに建っていて、同じ町内でこんなにも被害の差があることに驚きました。

避難所には一時300人弱が滞在していました。グラウンドには、先に避難していた方が椅子で描いたSOSの文字。交通障害で物資はなかなか届かず、1月3日までは皆が半壊、全壊の家に再び入り、必要なものを取りに戻っては避難所に持ち寄りました。お正月で家に蓄えがあったことも救いで、皆が持ち寄った食材で炊き出しが行われました。



避難所(金沢大学能登学舎)



炊き出しの様子

住んでいる地区ごとに使用する教室が割り振られ、1つの教室に20人以上が雑魚寝する状態で数日を過ごしました。ただ、高齢の方々は階段の上り下りが大変なため、結局1階に多くの方が避難していました。トイレの衛生状態も悪く、断水のためグラウンドに残っていた雪をトロ舟に入れて溶かし、バケツで水を運ぶ作業が繰り返されました。

そんな中、県内外から支援のためガソリンや発電機を持ち寄ってくださった方など、沢山の皆さんに助けいただきました。被災の中でも恵まれた環境に身を置けたことに感謝しかありませんでした。自衛隊の方がヘリからロープで降りて来てくださった姿は本当にたくましく、それだけで安堵感を覚えました。



避難所 教室内の様子



避難所入口 トロ舟に水をためている様子



停電のため、夜は懐中電灯を持つての移動

地震から4日目、ようやく避難所にも水が届きました。前日までは残り少なくなったペットボトルを1口1口我慢しながら大切に飲んでいただけもあり、水がこんなにもありがたいものと思えたのは初めてでした。

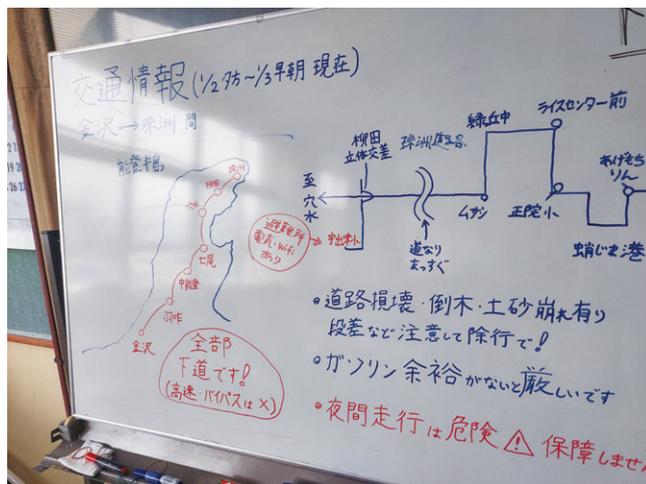
同日、周りの方から道路状況を確認し、両親も連れて金沢を目指しました。

通れると聞いていた道も実際に進むと亀裂や段差が激しく、ある場所では片側が完全に崩落している状態。いたる所でパンクや滑落した車が乗り

捨てられている異様な光景でした。消防車が十数台連なって走り、日が暮れても緊急で動いてくださっていることを知りました。悪路が続く中、自宅に近づき平滑な道路を走れるようになって、ようやく張りつめていた緊張から解放されました。



避難所体育館 物資搬入の様子



道路状況の伝達板

避難中は通信障害で連絡も途切れ途切れでしたが、皆さんから励ましと無事を祈るメールをいただき、心折れることなく奮闘して過ごせました。倒壊を目の当たりにし、建物を通じ人の命を守る社会的責任を身をもって実感しました。



教室内の地元子供たちが皆を元気づけようと描いたもの

石川県建築士事務所協会会報

『Harmony』2024年能登半島レポートNo.3 令和6年12月発行
 発行者／(一社)石川県建築士事務所協会 編集者／広報委員会
 TEL(076)244-5152 FAX(076)244-8472

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号(石川県建設総合センター5階)
 E-mail:ishikyokai@ishi-kjk.or.jp URL:http://www.ishi-kjk.com